

令和2年度 第3回理事会

令和2年11月6日(金) 16:00~

I 会場: Zoom 会議

II 出席者: 錦織 荒木 領家 高野 吉岡 赤沼 石川 兒玉 青戸
藤原 池田 糸原 杉原 豊田 野津 堀川 高橋 () 委任)

III 報告事項

《総務》

・会員の動向 456名(入会26名) 令和2年11月4日現在

《企画》

《学術》

【研修会】

・臨床血液研修会の報告

参加者 80名

《西部》

《会長》

【今後の日臨技理事予定】 ほとんどがWeb開催(場合によっては東京へ出向く)

- ① 12月4日 支部幹事会
- ② 12月5日 日臨技理事会
- ③ 1月22日 賀詞交歓会
- ④ 1月23日 日臨技理事会
- ⑤ 3月27日 日臨技理事会

IV 審議事項

① 三島前会長表彰推薦について

- ・表彰罰委員会より推薦承諾
- ・推薦書を荒木副会長が作成

理事会としても三島前会長を推薦することで承諾 承認

② 新人研修会について

対象者の人数調査が必要

今年度の開催について

<意見>

- ・無理やりする必要はないが、技師会に関する説明をする機会を持ちたい
- ・開催時期は見極める必要がある

- ・「横のつながり」を目的とする研修会を今の状況下で開催するのは難しい
- ・今年度無理にリモート開催をするよりは、来年度になって2年分の人数を集めてやってはどうか？

<結論> 新人研修は行うが、時期は見極めて行う。来年度になるかもしれない。

集合研修を開催するための指針を作成する。 承認

③ 学術部研修会について（別紙参照）

血液研修会の実績から対策等の検討：開催方法、参加費等について

<意見>

- ・ハイブリット方式で開催できるとよい
- ・参加費について：オンライン研修の間は参加費を徴収しなくてもまかなえる
- ・他県でも無料の研修会あり。自県の会員の参加のみとしているケースが多い

<結論> オンライン研修に関しては参加費を無料とする

非会員は参加費として3,000円を徴収する 承認

④ 臨地実習指導者の育成について（連絡済み）

2023年度末までに1,200名以上を目標

4月からスタート

該当施設の方には受講していただきたい

再度ご案内があればお知らせする

⑤ 医師の業務負担軽減に係るタスクシフト／シェアについて（連絡済み）

アンケート実施済み

⑥ 島根県医学検査学会と精度管理報告会の開催の有無、方法について

今年度の開催について

<意見>

- ・Web開催で行ってもよいのではないか
- ・録画して配信することができないか
- ・日臨技HPで検索できた範囲では、Web開催 3県 現地開催 3県
- ・県学会は可能な限り開催してもらいたい

精度管理報告会も形式（Web・現地）は問わず開催してもらいたい

<結論> 島根県医学検査学会は今年度の開催は見送る 承認

精度管理報告会については何らかの方法で開催すべく、精度管理委員長とも相談する 承認

島根県医学検査学会の開催方法（やり方）について

<意見>

- ・例年、西部地区の負担になっている

- ・担当施設の負担にならないように平等・均等に役を振り分けしてはどうか
- <結論>開催方法については県内施設全体で担当するよう見直しを行う
- 開催を見送る今年度は、来年度以降の開催にむけてやり方を検討する期間とし、
吉岡西部地区長を中心に、恒松前理事等含め相談しながら検討を行う 承認

⑦ 今後の理事会活動予定

総会は6月をめどに検討

広報活動：島臨技ニュースは新人紹介や理事紹介、部門長紹介などどうでしょうか

番外

① 技師連盟会員・自民党員の拡大

自民党入会については、強制ではないが宮島会長推薦のためにも協力を

その他

学術：島根医学検査（論文誌）は投稿数が相当数集まっており、すべて採用の予定

zoom研修会について、別添資料を部門長さんに周知する

参加者把握・生涯学習点数付与をどのように行うか、今後荒木副会長・兒玉学術部長・事務局でまとめて案をみなさまに提示する

コロナ禍における集合研修について：開催指針を作ってはどうか？

石川企画部長・領家副会長を中心に指針の作成を依頼（12月末頃までに）

V 次回理事会について

状況がこのまま、もしくは悪化しているならZoomで会議予定（3月頃を予定）

詳細については追って連絡